

奈良県経済の好循環を促進し、
働きやすく、良く学べる地域社会をつくりまします。



企業誘致・販路拡大・起業促進・ 商品開発支援・漢方生産拡大の推進

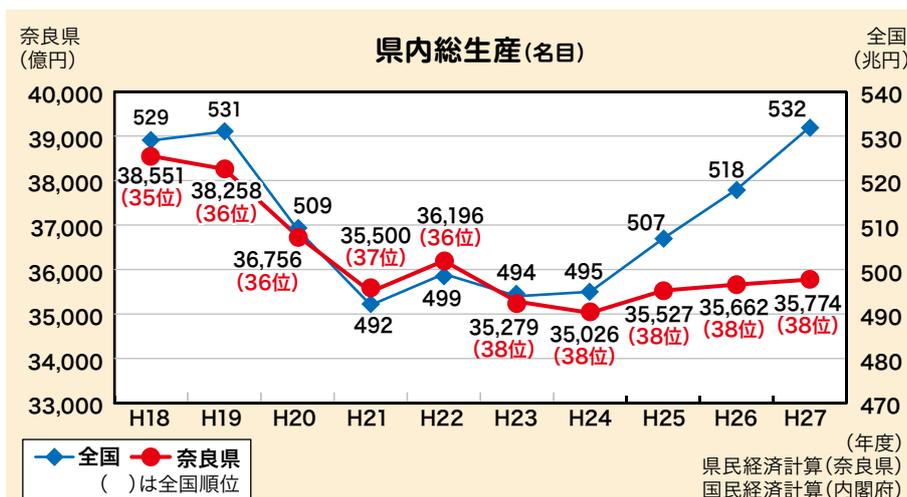
主担当部局：産業・雇用振興部



昭和工業団地周辺(大和郡山市)

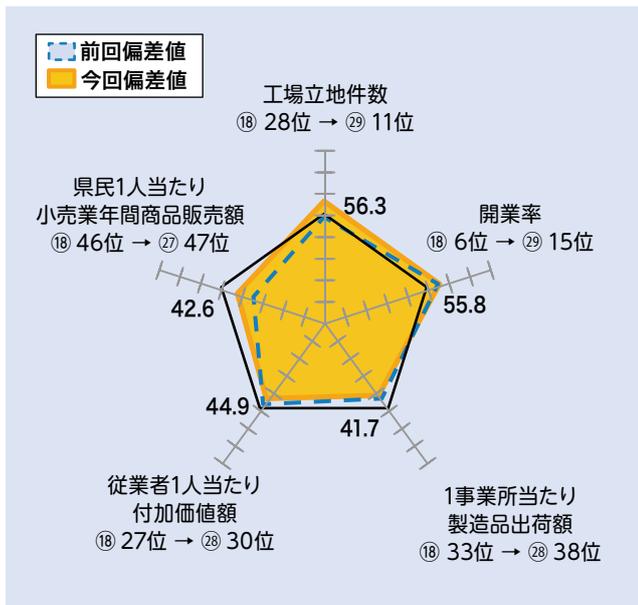
◆ 目指す姿

平成32(2020)年度までに、**県内総生産(名目)**を**3兆7,000億円**にアップ
します。

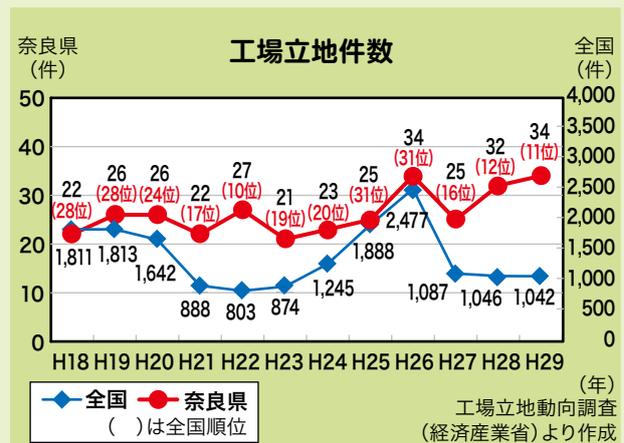


◆ 目指す姿を達成するための取組状況

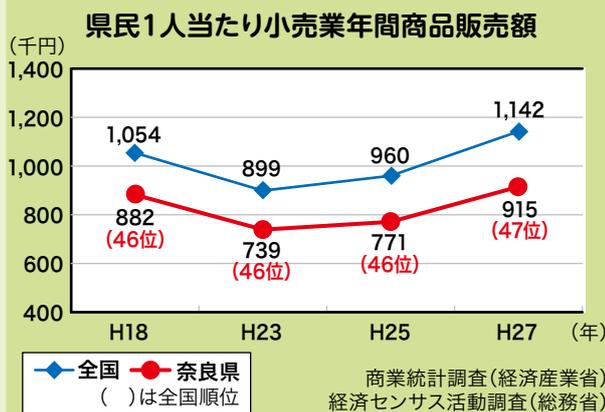
《 現状 》



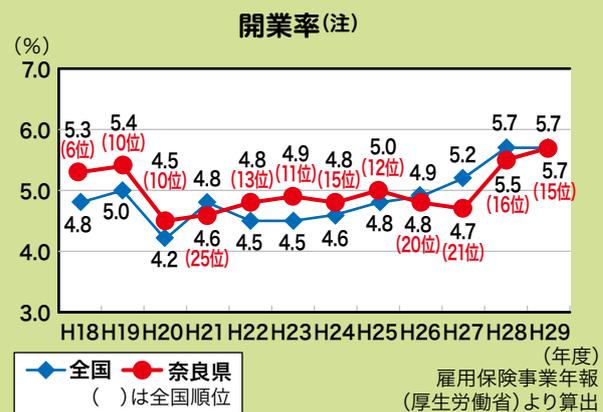
《 トレンド 》



企業誘致・新たな産業用地の確保に向けた取組により、平成29年の工場立地件数は全国11位となりました。

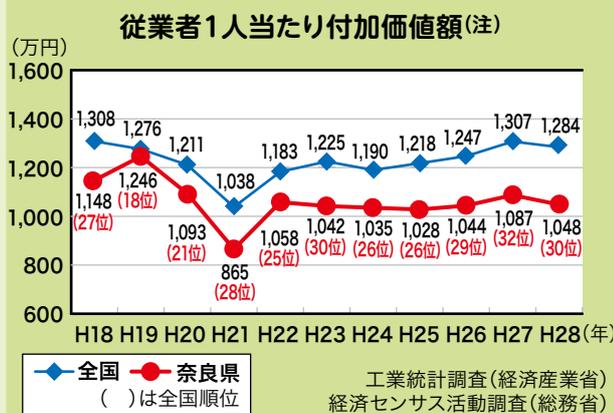


平成27年の県民1人当たり小売業年間商品販売額は、平成25年と比べて約14万円増加しましたが、全国平均よりも低くなっています。



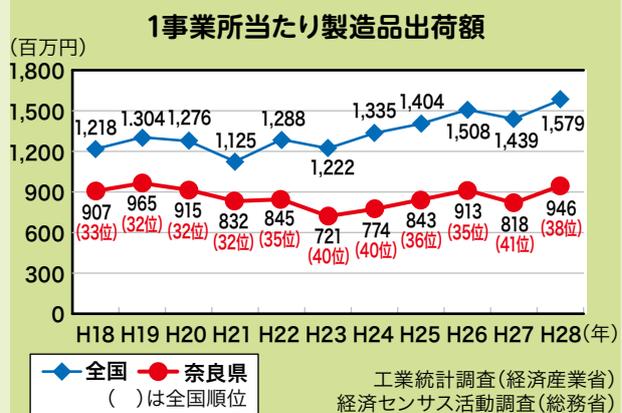
(注)開業率…対前年度比に対する新たに設立された事業所の割合

平成29年度の開業率は、平成18年度以降最も高い5.7%と、全国平均と同程度となりました。



(注)付加価値額…生産活動によって新たに生み出された価値 (製造品出荷額等－原材料費等)

従業員1人当たり付加価値額は、平成21年に減少した後、増加したものの、全国水準まで回復していない状況です。



1事業所当たり製造品出荷額は、平成24年以降増加傾向にあるものの、全国平均よりも低くなっています。



戦略 1

企業誘致・新たな産業用地の確保に向けた取組を進めます。

● 主担当課：産業・雇用振興部 企業立地推進課

◆ 戦略目標

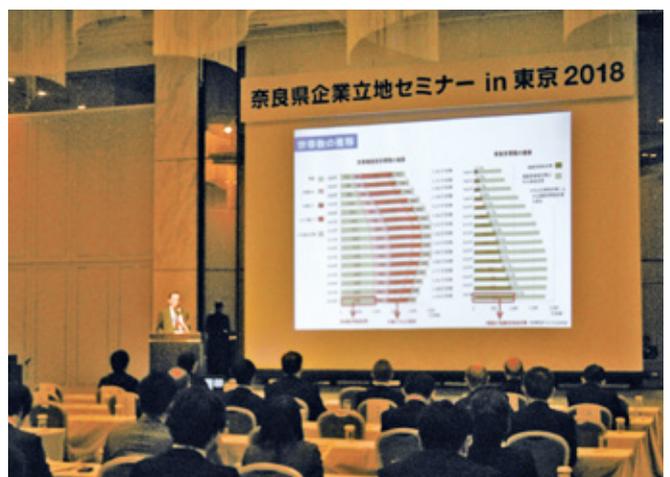


◆ 主な取組

項目	平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	平成33(2021)年度
新たな産業用地の確保に向けたプロジェクト及び戦略的企業誘致活動の推進	京奈和自動車道及び西名阪自動車道周辺における産業集積地の創出、トップセミナー・展示会・企業訪問等によるPR		
本社機能、研究拠点、情報通信業、多様な宿泊施設及び集客施設等の誘致の推進	企業ニーズや業界動向、地域特性を捉えた効果的な誘致活動の展開、補助金制度等優遇制度の活用促進		



学研生駒テクノエリア(生駒市)



企業立地セミナー(東京都)



戦略 2

販路拡大、起業促進、商品開発支援、漢方生産拡大を推進し、産業振興を図ります。

● 主担当課：産業・雇用振興部 産業政策課

◆ 戦略目標

企業の販路拡大・商品開発支援件数

142件

平成27(2015)年度～
平成29(2017)年度の3年間

目標

150件

平成30(2018)年度～
平成32(2020)年度の3年間

起業家の輩出率

(ビジネスプランコンテストからの実創業率)

43%

平成26(2014)年度～
平成28(2016)年度の3年間

目標

50%

平成29(2017)年度～
平成31(2019)年度の3年間

県産業振興総合センター中期研究開発方針の重点研究に基づく企業との共同研究件数

方針策定

平成28(2016)年度

目標

延べ10件

平成28(2016)年度～
平成32(2020)年度の5年間

大和トウキの生産量

1,461 kg

平成22(2010)年度

目標

12,400 kg

平成31(2019)年度

◆ 主な取組

項目	平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	平成33(2021)年度
首都圏・海外等への販路開拓支援、商品のブランド力向上及び高付加価値獲得	首都圏・海外等への見本市出展、ジェトロ奈良と連携した海外展開支援、ブランド力向上に向けた商品の開発、付加価値の高い商品・サービスの開発支援等		
意欲ある起業家の掘り起こし及び事業承継支援	ビジネスプランコンテスト・マーケティング講座の実施、経営まると支援ネットワークによる支援、事業承継ネットワークの展開による支援		
企業への研究開発支援	中期研究開発方針に基づく重点研究の実施		
漢方のメッカ推進プロジェクト	生産から販売までの一貫体制の構築		



ジェトロ奈良貿易情報センター開所式(奈良市)



奈良のいろいろ良品販売会(奈良市)

奈良県経済の好循環を促進し、
働きやすく、良く学べる地域社会をつくれます。



就業支援と働き方改革の推進

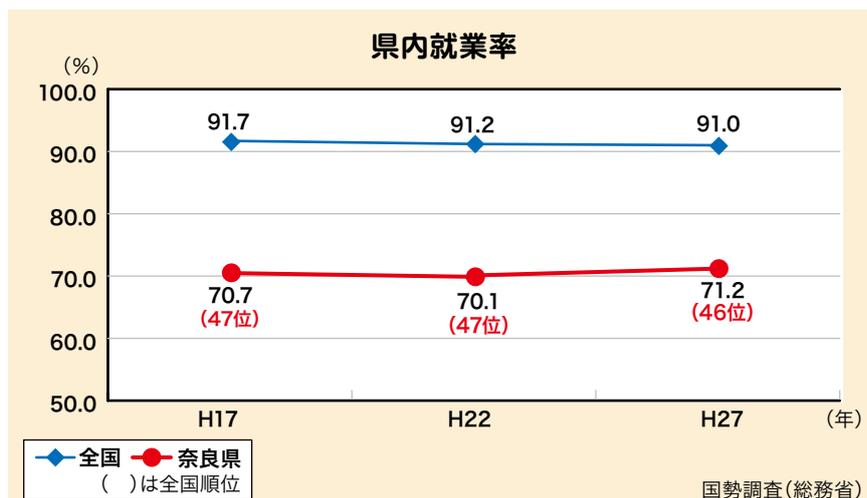
主担当部局：産業・雇用振興部



奈良で働きませんか

◆ 目指す姿

平成32(2020)年までに、**県内就業率を72%以上**にします。

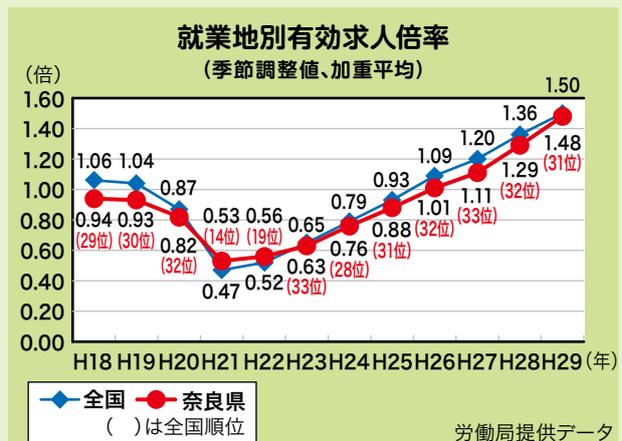


◆ 目指す姿を達成するための取組状況

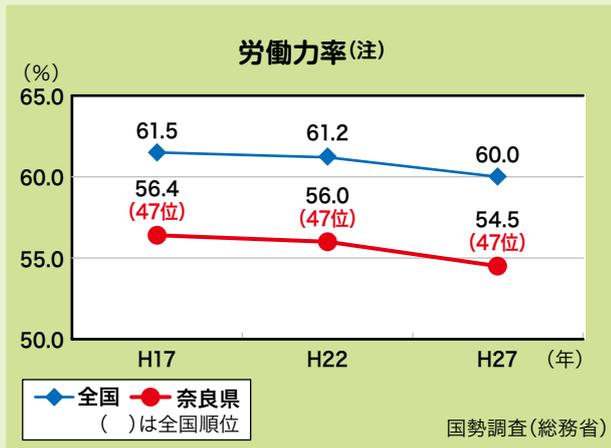
《 現状 》



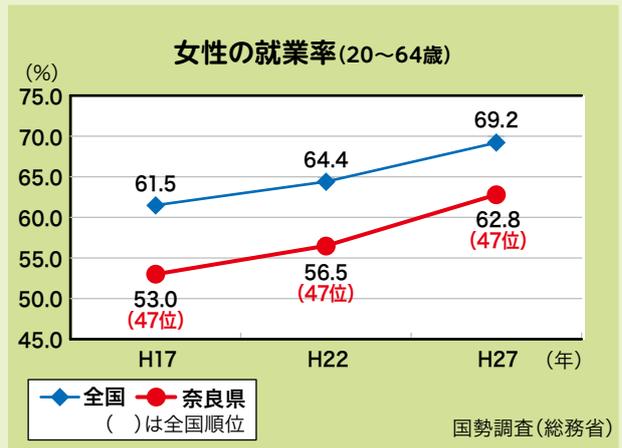
《 トレンド 》



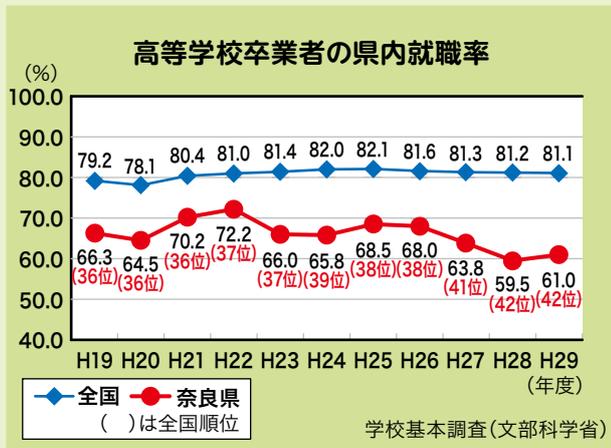
就業地別有効求人倍率(季節調整値、加重平均)は、平成26年からは全国と同様に1倍を超え、年々上昇し、平成29年には全国との差が0.02ポイントに縮まりました。



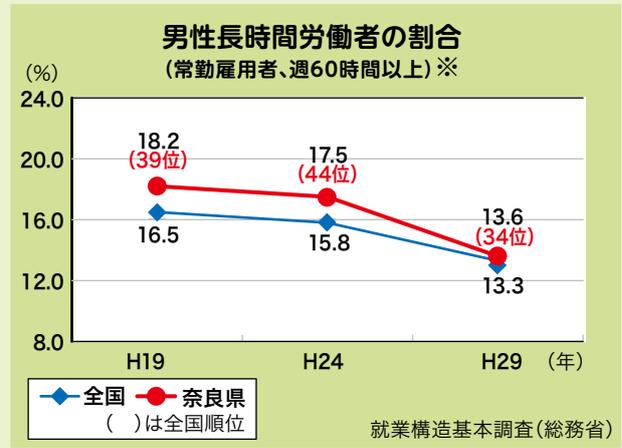
(注)労働力率…15歳以上人口に占める労働力人口の割合
平成27年の労働力率は全国最下位で、全国と比べて5.5ポイント低く、平成22年から全国との差はほぼ変わっていません。



平成27年の女性の就業率(20～64歳)は、依然全国最下位ですが、平成22年から平成27年の5年間の伸びは、6.3ポイントと全国1位で、全国との差が縮まっています。



高等学校卒業者の県内就職率は、雇用情勢の厳しい平成21年度から平成22年度は高くなりましたが、以降は低位で推移しており、平成29年度(速報)は全国と比べて20.1ポイント低くなっています。



平成29年の男性長時間労働者(常勤雇用者、週60時間以上)の割合は、平成19年と比べて4.6ポイント低下し、全国平均とほぼ同水準になりました。

※は数値の低いものが上位になる指標です。



戦略 1

若者・女性等の就業を推進し、県庁版ハローワークの充実により、**離職者の再就職支援**に取り組めます。

● 主担当課：産業・雇用振興部 雇用政策課

◆ 戦略目標



◆ 主な取組

項目	平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	平成33(2021)年度
県庁版ハローワークの運営	求人・求職者へのきめ細かなマッチング、若年無業者へのカウンセリング、企業合同説明会・セミナー等の実施		
女性の就業支援	「なら女性活躍推進倶楽部」による交流会等を通じた就業支援		
刑務所出所者等の更生に向けた就業支援	保護観察対象者の直接雇用、協力雇用主向けセミナーの実施		
職業キャリア形成の充実	高等技術専門校における訓練内容の拡充		



企業合同説明会(奈良市)



高等技術専門校家具工芸科の訓練



戦略 2

県内における働き方改革を推進します。

● 担当課：産業・雇用振興部 雇用政策課

◆ 戦略目標

「奈良県社員・シャイン職場づくり
推進企業」登録企業数(累計)

141 企業
平成28(2016)年度



目標
200 企業
平成31(2019)年度

県職員の超過勤務時間
(年間300時間超の職員割合)※

10.2%
平成28(2016)年度



目標
8.0%
平成32(2020)年度

希望する市町村立中学校への
部活動指導員配置率

事業実施
平成30(2018)年度



目標
100%
平成31(2019)年度

※は数値の低い方が良くなる指標です。

◆ 主な取組

項目	平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	平成33(2021)年度
県内事業所における働き方改革の推進	働き方改革推進協議会・働き方改革研究会・専門家派遣等の実施、「奈良県社員・シャイン職場づくり推進企業」の登録・表彰・啓発		
県職員の働き方改革の推進	多様な働き方の推進、超過勤務の縮減、効率的な業務運営、外部委託の推進、職員のメンタルヘルス対策の推進		
教職員の働き方改革の推進	希望する市町村立中学校への部活動指導員の配置		



奈良県社員・シャイン職場づくり推進企業表彰式



働き方改革推進協議会

奈良県経済の好循環を促進し、
働きやすく、良く学べる地域社会をつくります。



すべての人が生涯良く 学び続けられる地域社会づくり

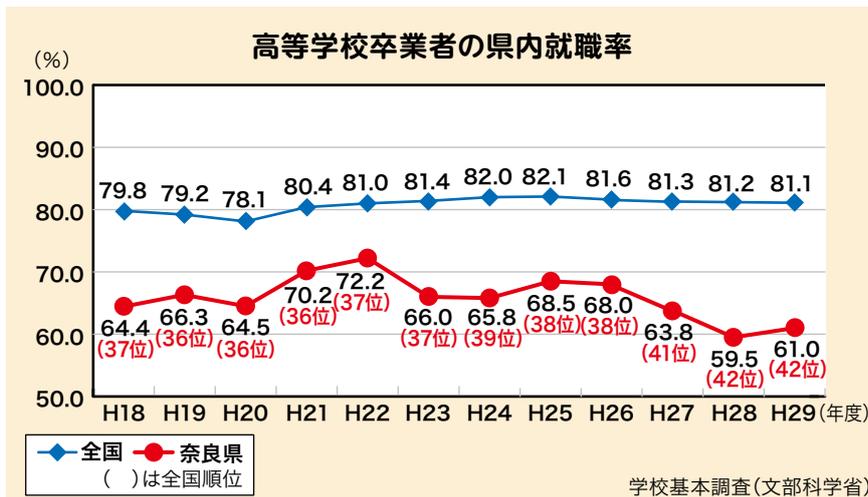
主担当部局：地域振興部



DMG森精機から貸し出された最新鋭の工作機械を使用した実習教育・森精機技術者による出張授業
(王寺工業高等学校)

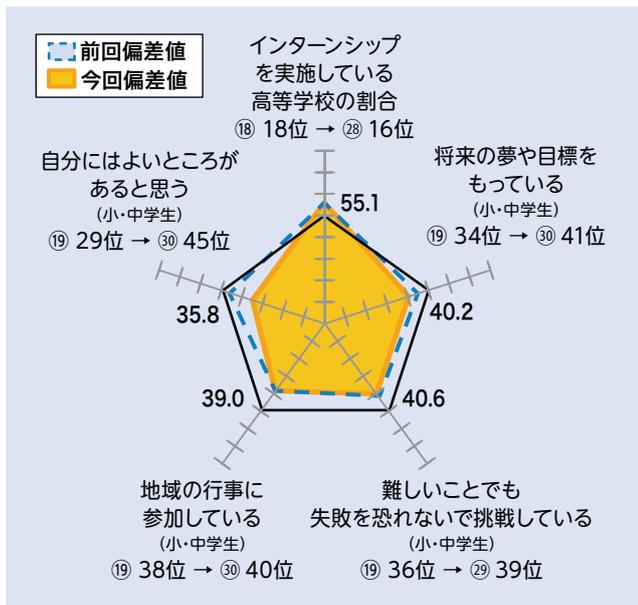
◆ 目指す姿

平成31(2019)年度までに、**高等学校卒業者の県内就職率を7割以上**にします。

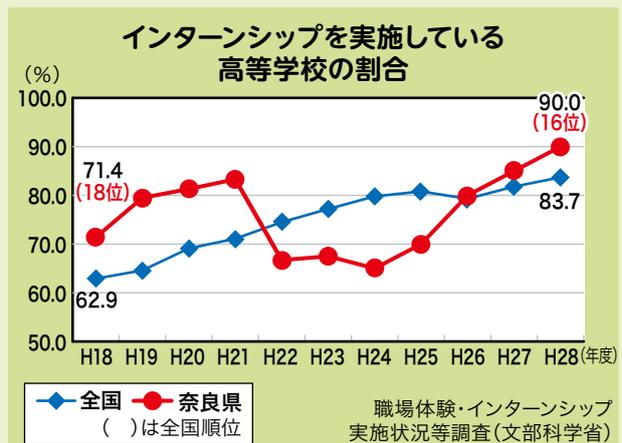


◆ 目指す姿を達成するための取組状況

《 現状 》



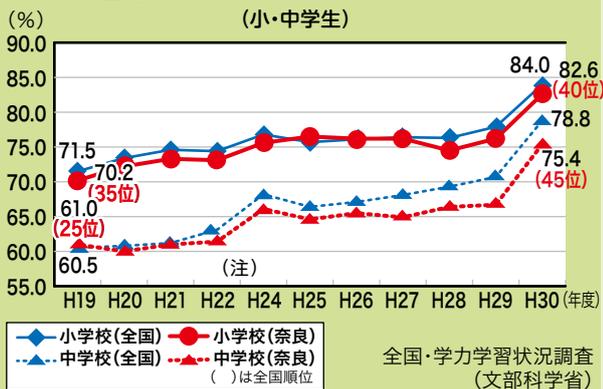
《 トレンド 》



インターンシップを実施している高等学校の割合は、全国平均を下回る時期がありましたが、平成26年度以降、8割を超え、全国平均を上回っています。

すべての人が生涯良く学び続けられる地域社会づくり

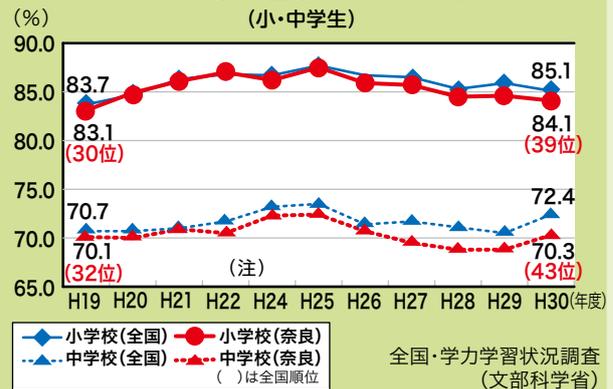
自分にはよいところがあると思う (小・中学生)



(注)H23年度は調査未実施のため、記載していません。

「自分にはよいところがあると思う」と回答する中学生の割合は、平成19年度に比べて14.4ポイント増加しているものの、全国平均より低い状態が続いています。

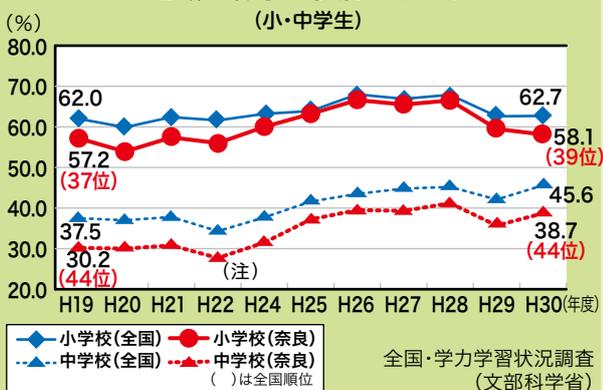
将来の夢や目標をもっている (小・中学生)



(注)H23年度は調査未実施のため、記載していません。

「将来の夢や目標をもっている」と回答する小・中学生の割合は、依然として全国平均より低い状態が続いています。

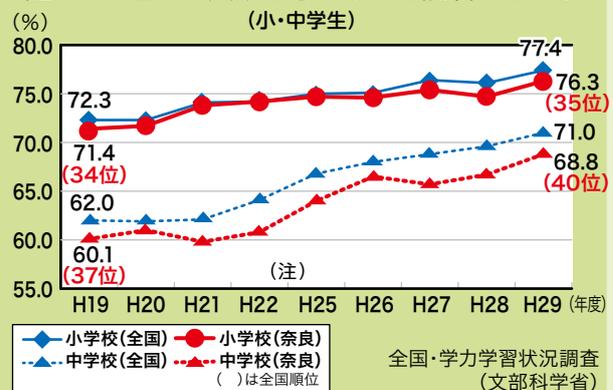
地域の行事に参加している (小・中学生)



(注)H23年度は調査未実施のため、記載していません。

「地域の行事に参加している」と回答する小・中学生の割合は、上昇傾向にあるものの、依然として全国平均より低い状態が続いています。

難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦している (小・中学生)



(注)H23年度は調査未実施、H24年度は質問項目としていなかったため記載していません。

「難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦している」と回答する中学生の割合は、平成19年度に比べて8.7ポイント増加しているものの、全国平均より低い状態にあります。



戦略 1

今後の奈良県を支える質の高い職業人を育成します。

● 担当当課：教育委員会 教育政策推進課

◆ 戦略目標



※は数値の低い方が良くなる指標です。

◆ 主な取組

項目	平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	平成33(2021)年度
県立高等学校における実学教育の充実	外部機関と連携したカリキュラムの検討	カリキュラムの実施 ● 長期インターンシップの本格実施	
キャリア教育の充実	職場体験・インターンシップの充実、 「キャリア教育の手引」を活用した研修機会の充実		
離職者対策の推進	離職原因の調査、再就職支援教員の配置		
郷土教育の充実	小・中学校における「郷土学習の手引」の活用促進		



奈良情報商業高等学校の販売実習「たまつえ露天市」(桜井駅南口広場)



郷土学習「くすりの町」の発表(高取町立たかむち小学校)

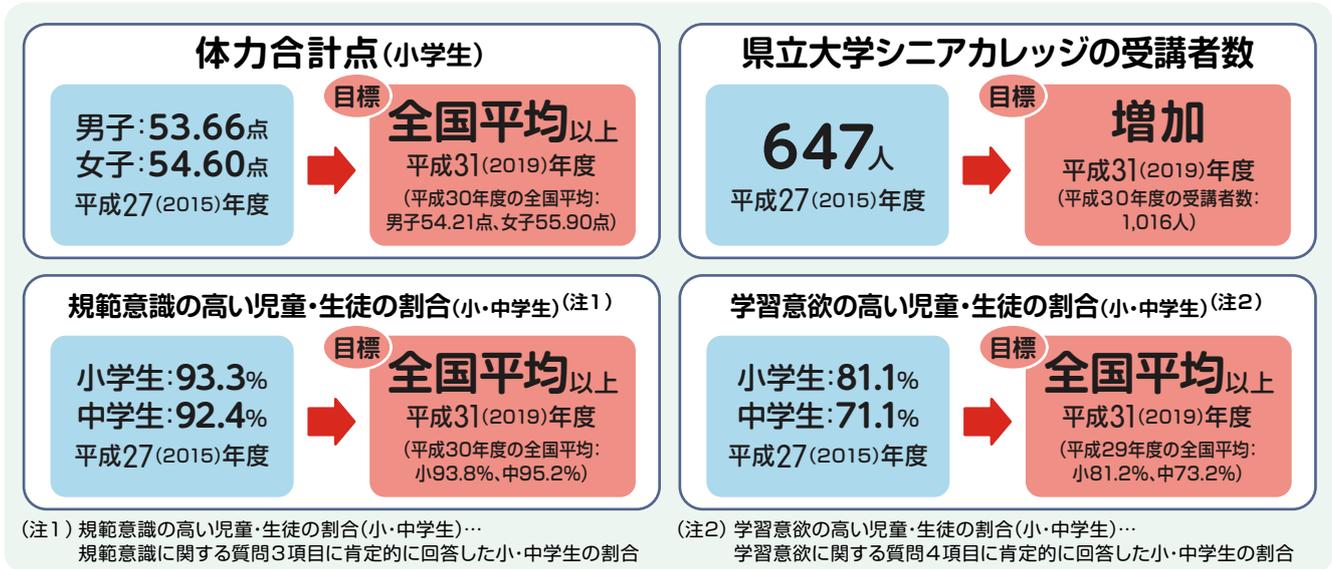


戦略 2

学びのステージや本県の教育課題に応じた教育を進めます。

● 主担当課：地域振興部 教育振興課

◆ 戦略目標



◆ 主な取組

項目	平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	平成33(2021)年度
体力・運動能力・ 運動意欲の向上	運動習慣の確立に向けた取組の充実、教員の指導力を高める研修の実施		
県立大学における地域貢献	県立大学シニアカレッジの開催		
就学前教育の充実	就学前教育プログラムの普及・充実		
教員の資質・能力の向上	高大連携による次代の教育を担う教員の育成		

● 奈良県次世代教員養成塾・後期プログラムの開始



県立大学シニアカレッジ(奈良県立大学)



奈良県次世代教員養成塾(奈良教育大学)